



パサディナ市との友情交流20回目 SDGs『飢餓をゼロに』をめざして ~Friendship 2025~



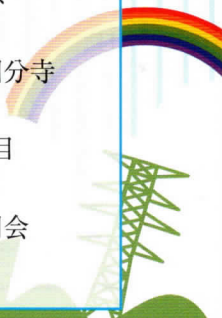
7月27日(日)から8月1日(金)まで、三島市の姉妹都市であるパサディナ市から学生10人と引率のブライアン・タケダさんを迎え、「フレンドシップ事業」が行われました。

今回のテーマは SDGs目標2「飢餓をゼロに」。初日には、パサディナの研修生がアメリカで取り組んだボランティア活動を紹介し、三島のホスト学生が日本語でサポートしました。また、子ども食堂やフードロス問題についての体験学習を通じて、「自分にできることは何か」を考える良い機会となったようです。

日々の研修を終えた後にはホストファミリーの家庭で日本の普通の生活を体験し、日本への理解が一層深まった様子でした。別れのとき、次の目的地へ向かう学生たちの目にはさわやかな涙が浮かび、交流をとおして育まれた友情と学びの大きさを物語っていました。

主な日程

- ・7/27(日) 三島到着
「飢餓をゼロに」プレゼンテーション
- ・7/28(月)
Oneぴーす三島アカデミー
- ・7/29(火)
市長表敬訪問、伊豆国分寺
- ・7/30(水)
富士山富士宮口新五合目
- ・7/31(木)
社会福祉協議会、送別会
- ・8/1(金) 三島出発



北中で 国際理解教育・出前講座開催

6月12日(木)市立北中学校において、3年生およそ200人を対象に、「世界を知ろう、国際理解教育」の授業として出前講座を実施しました。まず、日本大学国際関係学部の学生で、ソウル出身のチョン・ヘインさんが、母国韓国のことを紹介してくれました。韓国は隣国で、歴史的にも交流が深いので、日本とは、礼儀正しさなど似ていることが沢山あります。一方、韓国の中学校では「部活動」というものはないなど、文化や生活習慣の違いを教えてくださいました。



講師のバレさん(左)とチョン・ヘインさん

次に、ローマ出身で三島市在住のバレリオ・ルチッティさんが、母国イタリアについて紹介してくれました。イタリアは世界遺産が世界一多い国です、とか、スパゲッティ・ナポリタンはイタリアンではない、など興味深いお話でした。バレさんはまた、イタリアのオペラではマイクを使わないので、広いホール中に歌声が届くようにするための発声方法が大事で、実際によく通る声でカンツォーネ「オーソレミーヨ」を歌ってくれました。



夏期語学講座 韓国語・中国語・スペイン語

本年度も夏期語学講座が開催され、7月4日(金)三島市民生涯学習センターにて開講式が行われました。

今回もたくさんの受講者が参加しました。平出会長から受講者の皆さんに「この講座は外国語に興味を持っている方のファーストステップとなり、更に深く語学を学ぶきっかけになればという講座です。言葉を知れば外国の方々とコミュニケーションが生まれ、きずなが深まるでしょう」と挨拶がありました。

 韓国語




渡邊七海 先生

 中国語



李寧 先生

 スペイン語



ケイラ 先生

姉妹都市パサディナから来客

マイケル・カルロスさん

6月29日から7月1日にかけて、パサディナから、ブライアン・タケダさんの友人で、RAFU SHIMPO(羅府新報: Los Angeles Japanese Daily News)の記者のマイケル・カルロスさん(写真左から2人目)が、奥様のマキさん(同3人目)、息子さんのマイキーさん(同4人目)とともに来島しました。カルロスさんは、1986年に研修生として来島、3週間ほどホームステイをして三島市民と交流し、また、語学講座の講師として英語を教えるなどしたそうです。今回の来島の様子は、RAFU SHIMPOに記事として掲載することによって、両市の交流の促進、市民間の友情の深化につながれば嬉しいですね。6月30日に、協会役員と都市交流委員会の有志で歓迎会を開催し親睦を図りました。



ロン・トシマさん

6月18日には、ロナルド(ロン)・トシマさん(写真右から2人目)、奥様のジーンさん(同5人目)、孫娘のミカラさん(同6人目)が来島しました。今回の来日は三島が目的ではなかったのですが、せっかくの機会なので、宿泊先の東京から、日帰りで立ち寄っていただきました。パサディナへのツアーやフレンドシップで訪問した際にお世話になった有志で、歓迎会を開催し旧交を暖めました。



食でつなく国際交流“ルーマニア料理を作ろう”



リナ先生
(Ms.Heffley Madarina)



8月3日(日)生涯学習センター料理講習室にてルーマニア料理教室が開催されました。講師はルーマニア出身のヘフリー・マダリナさんです。参加者は20名、ほとんどの参加者はルーマニア料理を作ることも、食べることも初めてでしたが、参加者のひとり、“青年海外協力隊”の柔道コーチとしてルーマニアに滞在した経験を持つ吉瀬さんに、思い出の料理や体験のお話をして頂いたり、リナ先生からは歴史、食文化、日本との違いなどなど、たくさんのルーマニアのお話しが聞けました。料理は日本でも手に入れやすい食材で、ボリュームたっぷりがかつ、野菜もたくさん使われていてヘルシーな品々でした。「食でつなく国際交流」の料理教室はMIRA初の試みでしたが、皆さん、おなかもこころも充実した体験となりました。

Menu

- ピーマンの肉詰め
- ポテトサラダ
- 明太子パテ
- クレープ



デイビッド・オオニシさん 頼朝公旗挙げ行列に参加 ～三嶋大祭り～

今年も盛大に、暑く、熱く開催された三嶋大祭り。8月16日の頼朝公旗挙げ行列に、在住外国人を代表して、ボリビア出身のデイビッド・オオニシさんが土肥次郎実平役として参加しました。いつもMIRA行事に参加してくれるオオニシさん、騎馬姿はとても格好良かったです。



沿道の声援に手を振るオオニシさん

日本語の教え方講座開講



講座の様子

例年好評の『日本語の教え方講座』が、9月5日に開講しました。今年度は8人が受講、12月12日までの全12回、外国の方に日本語を教える初級編を勉強します。修了後は、この講座で学んだことを活用して、在住の外国人の方の日本語の学びのサポートを、是非、お願いしたいと思います。



講師の森田陽子先生

James Molloy - MIRA Newsletter #44

JIMのみしまものがたり④

光と祈りを乗せて ～三島の灯籠流し～

夏という季節には、不思議と一生心に残る思い出を刻む力があります。学校の夏休みを思い返せば、海のきらめき、蝉の声、そして地元のお祭りへと誘う甘い香りが蘇ってくるのではないのでしょうか。

私が育ったカナダ・ニューファンドランドの夏は、10週間にわたる森と海辺での冒険。国立公園でのキャンプや、夜通し続くバーベキューが定番でした。もうひとつの楽しみは、夏休みの始まりに合わせて公開される大作映画（当時はまだインターネットのない時代）で、1986年の話題作といえば『ベスト・キッド2』でした。前作の成功を受け、続編ではミヤギ先生（Pat Morita）が故郷の沖縄（実際はハワイ・オアフ島で撮影）を訪ね、病床の父に会う物語が描かれます。友情、背徳、愛、そして和解—ハリウッドらしいドラマが展開されます。今あえて観ることを強くおすすめするわけではありませんが、私の夏の思い出のひとつであることは確かです。何年も経って改めて観ると、ハリウッド的な脚色は多いものの、この作品は日本の外で育ったジェネレーションX世代に、日本の祭りの魅力と灯籠流しの美しさを初めて伝えた作品だったのだと気づきました。そして、その美しさを三島の灯籠流しで初めて体感し、この文章を書くきっかけとなりました。

7月16日の夕暮れ時、桜川には柔らかな光が落ち、ゆらめく灯りが静かに南へと流れていきました。読経とともに静かな笑い声が夏の空気に混ざり、人々は川面を眺め思い出を語り合っていました。少し大げさに聞こえるかもしれませんが、その光景は本当に美しく、人生のあらゆる素晴らしい瞬間と同じように、優雅で儂いものでした。そして、川沿いの短い散歩はすべてのがつながっている感覚を呼び起こしました。私たちは水から生まれ、分かち合い、やがて水へ還っていく—そんな循環を感じる時間でした。



故人を偲びながらも、今を生きることへの感謝を胸に、過去から未来へとつながる長い流れを思うひととき。灯籠の中で輝いていたのは、ろうそくの灯りだけではありません。そこには希望、明日への静かな祈り、そして生涯忘れ得ぬ灯籠流しの思い出が宿っていました。

故人を偲びながらも、今を生きることへの感謝を胸に、過去から未来へとつながる長い流れを思うひととき。灯籠の中で輝いていたのは、ろうそくの灯りだけではありません。そこには希望、明日への静かな祈り、そして生涯忘れ得ぬ灯籠流しの思い出が宿っていました。

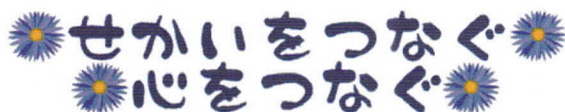


JICA青年海外協力隊 宮澤拓也さん 市長表敬訪問



豊岡市長（左）と宮澤さん

JICA（独立行政法人国際協力機構）の青年海外協力隊2025年度1次隊として、カリブ海のセントルシア島に約1年7か月に渡る派遣が決まった宮澤拓也さんが、8月末の出発を前に7月14日（月）豊岡武士市長を表敬訪問し、意気込みを語りました。三島市立向山小教諭の宮澤さん、現地では算数を中心に教え、またタブレットの普及にも努めたいと意欲満々です。送り出す諸先輩からは、「国際理解や協力の他にも、未知の世界に飛び込み、問題を発見し、解決していく力を養い、帰国後の地域の活性化にも繋げて欲しい」と激励の言葉をいただきました。



三島市国際交流協会

申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会（MIRA）事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ